

学校だより 7月号

令和6年7月1日発行

和歌山市立楠見東小学校

一学期も残すところあと3週間です



早いもので、1学期も7月を迎え、まとめの時期となりました。1年生が育てている朝顔もぐんぐんつるが伸び、もうすぐきれいな花が咲きそうです。1学期を振り返ってみると、様々な行事がありました。一年生を迎える集会、遠足、水泳学習、社会見学等、341名の子ども達が行事を通し、個を響かせ合いながら成長していく姿を、頼もしく感じています。

さて、みなさんは、詩人宮沢章二（みやざわしょうじ）さんの「行為の意味」という詩をご存じですか。私はこの詩を読みながら、子どもたち同士の関わり、また保護者や地域の皆様そして教職員など、子どもたちの健やかな成長を願う人々の優しい姿が思い浮かびました。子どもたちには、純粋な思いや心は存在します。「友達を大切にしたい」「人にやさしくしたい」という純粋な思いをぜひ行動に表して欲しいと思います。今よりもっと素敵な関係が築けるはずだと思っています。

行為の意味 宮沢章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも他人にも心は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心は誰にもみえないけれど
心づかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
「心」も「思い」も初めて美しく生きる
それは人が人として生きることだ

最後になりましたが、1学期の間、保護者や地域の皆様の温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。夏休みを迎えるにあたり、子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう、引き続きご家庭や地域での見守りをお願い申し上げます。また、夏休み中の読書や家庭学習を通じて、学びを続けることの大切さを伝えていただければと思います。

2学期も子どもたちの健やかな成長をサポートしながら、より良い学校づくりに努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

学校長 塩谷 裕子